

# 夢に向かえ! 二分の一成人式

## 中央小47人 10歳祝う

10歳を祝う二分の一成人式が3月13日、中央小学校で行われ、4年生47人が夢に向かって頑張ることを誓いました。

同式は、児童たちに自信を持って5年生になってもうとうとも、夢に向かって頑張ってもらおうと、10歳を区切りに、保護者も招待して昨年から実施されています。

第一部の式典では、二分の一成人証書授与が行われ、校長先生から「周りの人々を大切に、自分の目標に向かって歩んでください」と、児童一人一人に証書が手渡されました。また、児童たちが夢への決意を述べる4年生の言葉や、リコーダーや鉄琴による合奏を初めて披露しました。



二分の一成人証書を受け取る児童

第二部では、児童の10年を振り返るスライドショーや親から児童、児童から親への手紙渡しが行われました。スライドショーでは、赤ちゃんのときの写真も映し出され、児童たちはそれが誰だかわかると笑い声をあげ、楽しそうに観賞していました。



スライドショーを観賞する児童たち

## 親守詩で伝える「ありがとう」

### 親子でチャレンジわくわく教室in八幡

みんなで遊び、親に日頃の感謝の気持ちを伝える「親子でチャレンジわくわく教室 in 八幡」が3月7日、石清水八幡宮青少年文化体育研修センターで行われました。

このイベントは、教職員で構成される任意団体「T O S S いちばん星」が主催。3歳～小学6年生の28人が参加しました。

子どもたちは、スマートフォンの正しい使い方のクイズに答えるすごろくをしたり、歩数計で30秒間の足踏み回数を競ったりして、

みんなで楽しく交流。

最後に、親への感謝の気持ちを五・七・五の十七音で作る親守詩を考え、保護者に発表しました。子どもたちは「私の夢 応援してくれ ありがとう」など、いつもは照れくさくて言えない気持ちを詩に乗せ、自分の言葉で伝えていました。

きょうだいで参加した久乗拓くん(11)は「参加できて楽しかったです。親守詩は『ありがとう』の気持ちを込めて詠みました」と、しっかりと感謝の気持ちを伝えていました。



すごろくで遊ぶ子どもたち

# まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



花器に花を飾り付ける児童たち

### 卒業する6年生に

## 感謝を込めた花のアレンジ

3月19日、八幡小学校でフラワーアレンジメントの授業が行われ、4年生73人が卒業する6年生のために、感謝の気持ちを込めて花器に花を飾り付けました。

この授業は、児童たちにいろいろな職業を体験してもらおうと、毎年、キャリア教育の一環として実施。完成したフラワーアレンジメントは、卒業式の舞台に飾られ、最後に4年生から6年生にプレゼントされます。講師は、文化協会華道部会に所属する市民が務めました。

児童たちは、ストックやスプレーカーネーションなどをはさみで切りながら、園芸用のスポンジをはめた丸い器に飾り付け。仕上げに、5色のモールでハートや星を作ったり、フラワーアレンジメントを完成させていました。

岸田夏朋さん(10)は「全体のバランスを考えるのが大変でしたけど、とても楽しかったです。6年生にきれいな花をプレゼントしたいです」と話していました。

## 大地震に備えて訓練

東日本大震災から4年、阪神淡路大震災から20年――。大震災の記憶を風化させず、非常時に備えようと、3月1日にくすのき地区、15日に美濃山地区で防災訓練が行われました。

同訓練は、東南海・南海地震を想定し、各地区自治連合会などが主催。両地区で約800人の地域住民が参加しました。

防災無線で訓練開始が地域に放送されると、住民たちはそれぞれの避難場所である旧第四小学校、美濃山小学校

に集合しました。

訓練では、消火器による初期消火やAEDによる救命措置体験などを実施。くすのき地区では、地震発生時に身をかがめ、落下物から両手で頭を守るシェイクアウト訓練、美濃山地区では、バケツリレーや起震車による最大震度7の地震体験なども行われ、参加者たちは地震の怖さを学ぶとともに、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



バケツリレーに取り組む参加者たち(美濃山地区)